

梅屋庄吉認知度等調査結果【担当課:文化振興課】

(アンケート期間) 令和3年9月27日～10月10日(14日間)

(調査の目的)

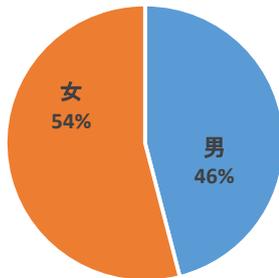
長崎県出身の実業家・梅屋庄吉の県内での認知度を調査し、これまでの取組の検証と今後の施策に役立てるもの

(調査対象) ながさきWEB県政アンケート全モニター337名

(回答状況) 回答者 311名(回答率92.3%)

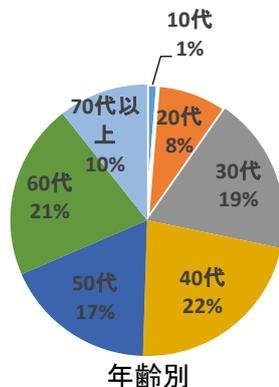
※小数点以下第1位を四捨五入しているため、100%にならない場合があります。

(回答の属性)



男女別

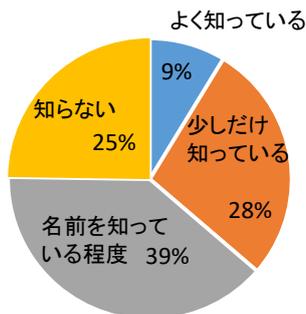
区分	人数	構成比
男	143	46%
女	168	54%
計	311	100%



年齢別

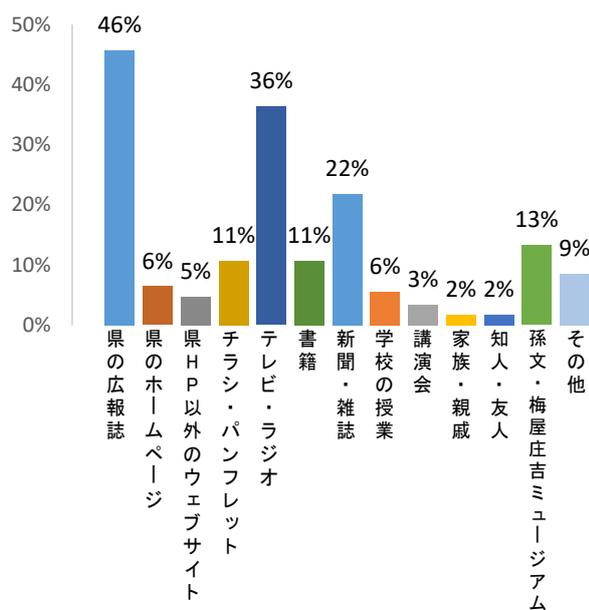
区分	人数	構成比
10代	4	1%
20代	26	8%
30代	58	19%
40代	69	22%
50代	56	18%
60代	65	21%
70代以上	33	11%
計	311	100%

Q1) 梅屋庄吉は、中国辛亥革命の指導者・孫文を物心両面で支え続けた長崎県出身の実業家です。梅屋庄吉のことを知っていますか。



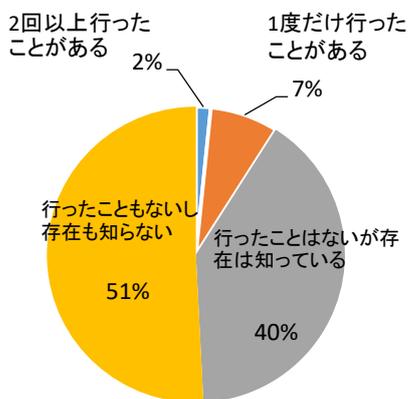
選択肢	回答者数	構成比
1 よく知っている	27	9%
2 少しだけ知っている	86	28%
3 名前を知っている程度	121	39%
4 知らない	77	25%
計	311	100%

Q2) Q1で「知っている」と回答された方にお尋ねします。どこで梅屋庄吉のことを知りましたか(複数回答可)。



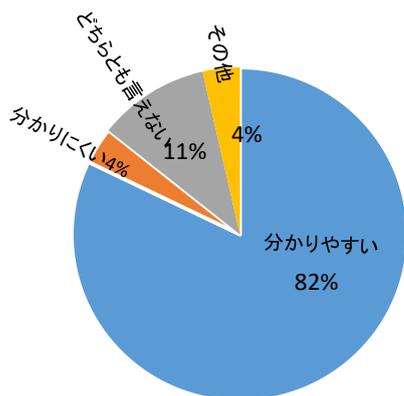
選択肢	回答数	割合
1 県の広報誌	107	46%
2 県のホームページ	15	6%
3 県のホームページ以外のWEBサイト	11	5%
4 チラシ・パンフレット	25	11%
5 テレビ・ラジオ	85	36%
6 書籍	25	11%
7 新聞・雑誌	51	22%
8 学校の授業	13	6%
9 講演会	8	3%
10 家族・親戚	4	2%
11 知人・友人	4	2%
12 孫文・梅屋庄吉ミュージアム	31	13%
13 その他	20	9%
回答対象者	234	—

Q3) 県と長崎市は、平成26年4月に「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム(以下、ミュージアムという。)を長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館に開設しました。ミュージアムへ行ったことがありますか。



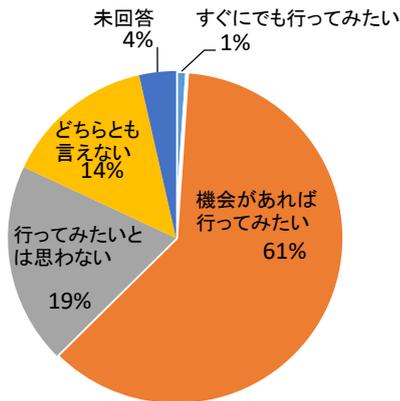
選択肢	回答者数	構成比
1 2回以上行ったことがある	5	2%
2 1度だけ行ったことがある	23	7%
3 行ったことはないが存在は知っている	125	40%
4 行ったこともない存在も知らない	158	51%
計	311	100%

Q4) Q3で「行ったことがある」と回答した方へお尋ねします。ミュージアムでは、孫文と梅屋庄吉の歴史や日本の近代史における長崎の役割などを紹介していますが、内容は伝わりやすかったですか。



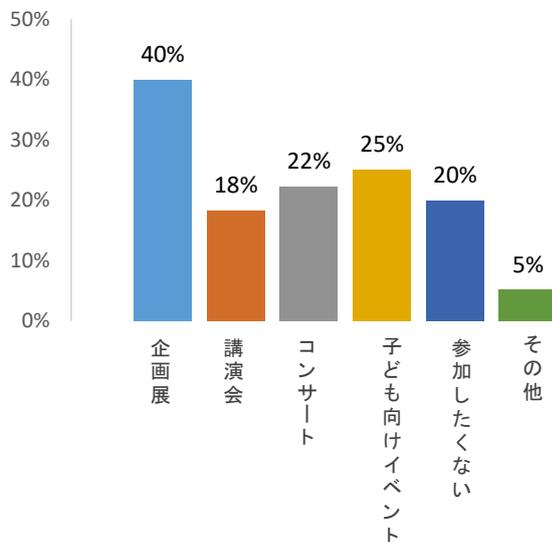
選択肢	回答数	割合
1 分かりやすい	23	82%
2 分かりにくい	1	4%
3 どちらとも言えない	3	11%
4 その他	1	4%
回答対象者	28	100%

Q5) Q3で「行ったことがない」と回答された方にお尋ねします。ミュージアムは、これまででない設備（一部の展示ケースをタッチパネル式とし、アニメーションなどを通じて展示資料を分かりやすく解説。また、3つの体験コーナーを設置。）を整備していますが、今後行ってみたいと思いますか。



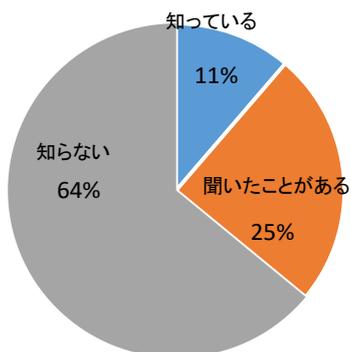
選択肢	回答数	割合
1 すぐにでも行ってみたい	3	1%
2 機会があれば行ってみたい	174	61%
3 行ってみたいとは思わない	55	19%
4 どちらとも言えない	41	14%
5 未回答	10	4%
回答対象者	283	100%

Q6) 県では、孫文や梅屋庄吉の生誕日などの記念日が集中する11月を「孫文・梅屋庄吉友情月間」と定めて、様々な取組を行っています。どのようなイベントであれば参加したいと思いますか(複数回答可)。



1 孫文と梅屋庄吉に関する企画展	124	40%
2 孫文と梅屋庄吉に関する講演会	57	18%
3 ミュージシャンによるコンサート	69	22%
4 子ども向けの切り絵、宝探しなどのイベント	78	25%
5 参加したくない	62	20%
6 その他	16	5%
回答対象者	311	—

Q7) 中国とゆかりの深い長崎県は、辛亥革命はじまりの地である中国湖北省と平成23年(2011)に友好交流協定を締結しましたが、このことをご存知ですか。



選択肢	回答数	割合
1 知っている	35	11%
2 聞いたことがある	77	25%
3 知らない	199	64%
計	311	100%

Q8)その他、「孫文・梅屋庄吉と長崎」プロジェクトに関するご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

(主な意見)

- ・遠くから来るものとしては、ランタンの時期などにイベントがあると一緒に行きたいと思う。
- ・確か、お孫さんが関東にお住まいの女性だったと記憶していますが、その方のお話し講話などを聞いてみたいです。
- ・大人の私が長崎の文化を知らないことに、今になって恥ずかしさも覚えます。幼少期(小学校一年生頃から)の毎年11月に孫文・梅屋庄吉について学習する機会やイベントがあれば、親しみを感じやすく、長崎の文化にも触れることができるのではないかなと思いました。
- ・長崎市以外の住民に興味を持たせる何かが必要かと思います。
- ・正直馴染みが薄いので興味がわかりません。
- ・梅屋庄吉という名前を聞いたことはあっても長崎にとってどのような功績があったのかよく知らない。もっと市民が知るようになったらミュージアムやイベントに足を運ぶ気になると思います。
- ・孫文や梅屋庄吉についてをそもそもよく知らない。広報誌等を通じて、どういった人物か、歴史的背景など知る機会があれば良いと思う。
- ・知らない事ばかりというのが、今回のアンケートで分かりました。少し勉強してみるのもいいかも。いい機会だと感じました。
- ・市民に知ってもらいたいなら、もう少し市民の無料開放などをして、連れてきてもらったりするなどしてもいいのでは。コロナで難しいかも知れませんが。
- ・何のイベントであっても駐車場を見つけるのが面倒なんです。駐車場情報も合わせて知らせてもらえると助かります。
- ・自治会の回覧板・TV・新聞・Twitter・YouTubeなどで梅屋庄吉ミュージアムの詳細がわかると助かります。
- ・認知度をあげるイベントの開催をお願い致します。
- ・なかなか大人になってからは参加が難しいため、学校の授業や子供が参加できるイベントで知る機会があればいいと思います。
- ・興味はありますが広報や啓発が十分届いていないように感じます。
ニュース番組などで短時間で長期的な特集を組んでみてはいかがでしょうか
- ・長崎は歴史的な背景から、過去の資料や展示物に関係するミュージアムが多いと感じる。今回のプロジェクトも同様に歴史を知るというイメージです。体験型であるとか、学校での社会科見学といった形で、小学生以下も楽しく学べる機会であれば願います。
- ・長崎は歴史の宝庫ですから他所にない長崎さるくなどを積極的に全国へ実地の発信して観光客の増加に取り組んでほしい
- ・この手のイベントは好ましくない。
- ・長崎へ来て5年以上が経ちますが、梅屋庄吉のことを全く知りませんでした。私のようにあまり興味のない人でも何か少しでも知る機会があれば良いなと思います。
- ・もっとみんなが認識できるようにアニメや地域ドラマができるといい。youtubeで佐賀の源為朝のアニメユニコーンが歌ったように若者に人気があり(年寄りに人気でなく)西高出身で優秀な長濱ねるさんを利用したらいいと思う。
- ・テレビ番組とかに登場すると認知度が上がる。(大河ドラマでの高島秋帆とか)なのでその機会ができればいいですね。
- ・以前テレビで見た梅屋庄吉のドラマを再放送してほしい。
- ・歴史文化が多く残る長崎県で梅屋庄吉の資料は非常に興味が有り、他県への広報活動を広げて欲しい。
- ・県民が周知する事で、何がかわるのでしょうか。
- ・「孫文・梅屋庄吉と長崎」のプロジェクトはいいことだと思います。是非成功させてください。
- ・展示会など各地区の公民館等で開催されれば、見に行く機会があると思います。
- ・私は中国には30回以上訪問している。中国文学、中国舞踊等々をもっと積極的に推進すべきです。長崎人は中国人への拒否感は無いです。
- ・知らない事が多くあるので多くの発信をお願いします。
- ・興味もなく認知度が少ないことについて興味を持ってもらうにはインパクトあるわかりやすさが必要だと思います。
- ・親が知らないのでも子供にも伝えられていない。子供でも楽しく読める漫画形式のものを配布していたらいいかなと思います。

できれば良いなと思います。「つたえる県ながさき」に載せて戴いても良いと思います。

- ・梅屋庄吉についてインターネットでいろいろと勉強中です。中国で有名と知りました。
- ・今、政府は中国を敵対視している。あらゆるトラブルは対話と忍耐で解決しなければなりません。県知事は率先して中国の方々と機会を見つけて、信頼関係を図ってください。
- ・米中覇権争いの渦中で日本の立ち位置は難しさを増しています。台湾、尖閣問題を考えれば日本も国の防衛・安全確保に注力せざるを得ません。その中で、現状から目を背けるのではなく、そうした現状を踏まえ、「長崎プロジェクト」が日中友好に如何に寄与したか、また寄与すべく如何なる考えで取り組むかが解る様な企画をお願いします。
- ・孫文は少し知っていますが、梅屋庄吉のことは何も知りませんので勉強します。
- ・中国と日本の未来ですね。